

アメリカ研修3日目が始まりました。本日は生憎の雨模様でしたが、10度を超える12月のニューヨークには珍しい暖かい気候となりました。ついに本日から各ホストファミリー先より、各自で9時15分までBSLまで登校してもらう事になります。一番早いペアは8時30分に到着しその後続々と揃い始めましたが、集合時間になっても現れないペアが3組いました。遅刻が分かった段階で事前に電話をもらっていましたが、最後のペアは9時50分頃の到着となりました。最寄り駅までは到着していましたが、昨日とは違った出口から出てしまい迷った様です。明日からは集合時間も少し早くなりますので、本日の失敗を活かして登校してもらいたいと思います。

また、昨夜のホストファミリーとの交流について聞いてみると、日本から持ってきたお土産を使って交流が出来た事や家族の誕生日会に参加した事等々を話してくれました。日記にもファミリーと交流した様子が綴れており、初日からそれぞれ様々な経験をしたのではないかと思います。

そして今日からは英語クラスが始まります。日本で実施したプレースメントテストを基にクラス分けが行われ、砺波高校生のみで Closed Class が low Class と High Class に分かれて28名、留学生のいる International Class へとなった生徒は2名となりました。昨年に引き続きBSLに在籍する留学生の殆どが大学生～社会人のため、International Class にいける生徒は極わずかです。本日は Closed Class と International Class の授業開始時間が少し違いましたが、明日からは全てのクラスが同じ時間帯で動くため、休憩時間等を使って他の留学生と交流できるチャンスは全員に与えられます。英語クラスでは、与えられた記事を読みながらディスカッションをする等、発話が多く求められます。中々初日からは自分の意見を言う事が難しく、中々会話が進まなかった様ですが、明日からは渡されたテキストを基に予習も行いスムーズに授業に入っていける事を期待しています。

そして昼食後は300万点以上の美術作品が展示されており、世界三大美術館の一つでもあるメトロポリタン美術館へと向かいました。全てをじっくりと見て回るには数日や数週間どころか、年単位でかかると言われている程の規模になります。美術館で使える2時間の内、初めの1時間はガイドさんからの英語での説明も含めたツアーになりました。ただ、説明とは言ってもただ単に有名美術作品の説明を聞いて見て回るだけでは物足りないと思い、作品を見ながら感じる事を色々と言い出してもらう機会にしました。例えば、印象派として知られるモネの代表作の一つでもある「睡蓮」を見てもらい、直感的に感じる他の作品との違い、そしてなぜ違うのか意見を出してもらいます。「なんとなく暗い?」「ほかの作品より色使いが濃い?」自信なさげではあるものの、意見がいくつか出てきました。実際に美術館に行き、他の作品と比べる環境だからこそ見て感じる物を実際に言語化する事によってより理解が深まったのではないかと思います。美術館を出たのは17時過ぎとなり、ここからはペア毎にホストファミリー先へと帰宅してもらいました。丁度帰宅ラッシュの時間と被っており混みあった車内でしたが、全員無事到着した様です。

以上2日目のご報告とさせていただきます。

砺波高等学校 アメリカ研修 3日目 報告書



【英語クラスの様子】



【地下鉄で移動中】



【メトロポリタン美術館内地図を確認】



【美術作品を見て、直感的に感じた事を言葉にしていきます】





【メトロポリタン美術館にて】